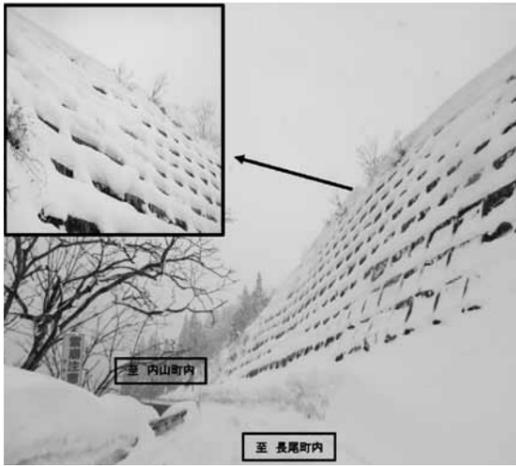




伊藤 欽一 議員

# 雪崩防止対策について

## 補助制度を活用した実施の可能性を検討



雪庇の崩落が危険な法面（町道 内山長尾線）

**【質問】** 町道内山長尾線で、格子枠コンクリートで斜面の保護がされているが、格子枠に雪が溜まり危険なので雪崩防止対策の要望が、平成23年から継続し出されています。平成27年度からは長沢地区連合町内会とし陳情されていますが、町の回答は毎年同じよう進展がまったく見えない状況です。これまでの取り組みと今後の展望について町長に伺います。

**【町長】** 町道内山長尾線は長沢地域・上長沢地域間を結ぶ重要路線であり、雪庇の危険性、対策の必要性については十分認識しています。町では応急対策ではありますが、格子枠の法尻に雪庇を受けるとポケットを雪でつくり対応しています。現在、雪崩対策の必要な重要町道は、緊急度から判断し、折渡松原線、舟形太郎野線、内山長尾線となりますが、対策工事費の補助事業を模索していました。

**【町長】** 観光物産協会は特産品の情報発信と販路拡大や、新たな体験メニューの開発検討など、交流促進による町の活性化に取り組んでおり、舟形町

**【質問】** 町の特産品を使用しているコース料理を想定した試食検討会を町観光物産協会が開催との記事が新聞に掲載されています。舟形町振興公社と観光物産協会との関わりと、若あゆ温泉を核とした観光の発展をどのように結び付け町の魅力を発信していくのか町長の考えを伺います。

**【町長】** 国は「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」を策定し、令和7年までの5ヶ年で取り組むこととしており、町ではこの機会に、補助制度に照らし合わせて実施の可能性を検討します。

### 新たな町の魅力発信は食の情報発信とワーケーションを展開

振興公社は鮎料理をはじめとした加工品により、「魅力ある食」の提供をしております。公社が管理する若あゆ温泉あゆっこ村周辺は、町の一大交流エリアとなっています。来年度は、あゆっこ村のWiFi環境の整備と、自然を生かした体験メニューによるワーケーションを展開していきます。



WiFiが整備されワーケーションと町の魅力発信が期待される「あゆっこ村」

※ワーケーションとは、ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせた言葉で、観光地などでテレワークを活用し、余暇を楽しむつつ仕事をすること



豪雪時には自助・共助は限界 「排雪困難で植木を伐採せざるを得ない事例」

**【質問】** 昨年の記録的な少雪とは打って変わり、12月から大雪警報が発令され、年明けには豪雪対策本部が設置されたわけですが、冬の暮らしを守る除排雪体制や安心な生活環境の体制が急務と思えるが、高齢化も進む中で除排雪が困難になると町を離れてしまうのではないのでしょうか。隣接する住宅地では排雪する場所

**【町長】** 豪雪に関する近年の課題は、気候変動に影響された短期的な豪雪や人口減少と高齢化により地域の除排雪が弱体

の確保も困難で苦勞なされる方も多くいるのではないのでしょうか。町道を時期等を定め地区ごとに分けるなど住民一斉での除排雪は出来ないのか。また、除排雪で路線を増やす際には排雪時間に対応すべきオペレーターは増やしているのか。更には除排雪で傷んだガードレール等の修復又は交換等の対応策は、国道・県道への要請は行っているのか、景観優美な町並みも大切だと思いが、町長の雪に強いまちづくりに関する考えを伺います。

化していることが挙げられます。集中的な豪雪については、災害時と同等の対応をしておりますが、今後も検証しながら体制の整備を進めてまいります。すべての除排雪を町で行うことは不可能ですので、自助・共助・公助が連携した除排雪の取り組みを進めているところです。住民一斉での除排雪については「官民協働一斉除排雪」として平成25年頃に注目された取り組みで、地域ごとに各戸で一斉に町道に雪を出し、町が排雪運搬を行うものです。最上管内では舟形町と戸沢村以外の市町村において各一地区ずつ実施しています。舟形町では町道及び生活道路等のきめ細かな除雪対応や雪

対策が充実しており、要望自体がないのが現状です。路線が増えた場合の対応については平成30年度に生活道路除雪に対応するため小型除雪車を一台増やしています。今年度はひだまり第二分譲地の路線が増加し、除雪体制を変えていないため、作業時間は長引いている

状況ですが、工区間で路線の調整を行う事で対応可能と考えており、オペレーターを増やす計画はありません。除排雪で傷んだガードレール等の対応は、国・県・町がそれぞれ区分により破壊等の状況に応じて責任を持つて順次、補修することになります。



国・県・町道の統一が望ましい景観重視のガードパイプ



叶内 昌樹 議員

# 持続可能な地域づくりとは

## 自助・共助による取り組みが重要

自助・共助による取り組みが重要